病棟・外来 化学療法ワークシート<(3_weeks): Pembrolizumab	寮法(MSI−High腫瘍)>	第 コース
 I.基本情報		
患者ID @PATIENTID (3_weeks):Pembrolizumab療	法(MSI-High腫瘍)プロト	コール(every 3 weeks)
生年月日 @PATIENTBIRTH3 プロフェール(オイルーグ)		next
■ ま者氏名	200mg/body ↓	in→
性別 @PATIENTSEXN		
年齢 @PATIENTAGEFORMATTED		
〈疾患名〉 (前コースの化学療法開始日	1〉年	月 日
□MSI-High固形癌 (前コースの投与量)		
キイトルーダ		
<u>告知 □あり □なし mg</u> mg		
Ⅱ.化学療法実施過程		
*投与日当日のチェック事項 (記載のない場合はDr. に確認を行った後	、薬局3689に連絡する)
	 3目	
薬剤名 規格 数量		
100 1		
1) 生食 100mL ×1B		
(持続点滴メイン:ルート確保用)		
2) キイトルーダ 100mg/4mL ×()V		
生食 100mL X1B		
(持続点滴側管:0.5時間)		
3) 生食 50mL ×1B		
(持続点滴側管:全開で フラッシュ用)		
(14 depth(vier) (2) (15 - 10) (17 -		
Ⅲ. 化学療法剤投与量算出		
<pembrolizumab投与量></pembrolizumab投与量>	蜀 >	
(1 OHIDI OHEAHIAD JA) = 7	<u>…。</u> 一ジョンリアクションを起こ	こした場合、次回コースよ
り長(cm) 体重(Kg) りタリオン	√錠10mg×1錠、カロナー	
	:与1時間前に内服する。 ンフィルター(0.2~5μm)?	た庙田士スニレ
I→JMS軸	液セット:PVCフリーで可(
Pembrolizumab(キイトルーダ)投与量(mg/body)		
=200mg/body × (%)		
	\ <u>\</u>	
	<u>薬</u> 剤師	i 薬剤師 ※
	が二重線の枠内を記入	
開始	前日10:30までに薬局へ	、提出してください。

化学療法ワークシート<TPF療法(陰茎がん)> 病棟 • 外来 コース I. 基本情報 @PATIENTID TPF療法(陰茎がん)プロトコール(every 3 weeks) 患者ID 生年月日 @PATIENTBIRTH3 day1-2-3-4-5-----22 DTX(ワンタキソテール) 75mg/m^2 next→ @PATIENTNAME 患者氏名 CDDP(シスプラチン) 70mg/m² @PATIENTSEXN \downarrow \downarrow \downarrow \downarrow \downarrow 5-FU(フルオロウラシル) 500 mg/m²性別 年齡 @PATIENTAGEFORMATTED (前コースの化学療法開始日) 年月日 〈疾患名〉 □陰茎がん 〈前コースの投与量〉 ワンタキソテール シスプラチン フルオロウラシル 告知 □あり □なし mg mg mg Ⅱ. 化学療法実施過程 *投与日当日のチェック事項 (記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する) 第1日目 第3日目 第2日目 第4日目 第5日目 数量 薬剤名 規格 1) デキサート $\times 3V$ 3.3 mg/1 mLパロノセトロン点滴バッグ 0.75mg/50mL × 1B (持続点滴メイン:0.5時間) ワンタキソテール 80mg/4mL)V × (ワンタキソテール 20mg/1mL × ()V 250mL 生食 X₁B (持続点滴メイン:1時間) 3) 硫酸Mg補正液 20mEq/20mL $\times 0.8A$ 生食 X1B 1000mL (持続点滴メイン:3時間) 4) イメンドカプセル ×1セット 125mg 80mg 80mg (内服:シスプラチン投与の1~1.5時間前に服用) 5) デカドロン錠 ×16錠/日 0.5mg/錠 (内服:1日2回 朝・昼食後) フロセミド注 20mg/2mL $\times 1A$ (ワンショット静注側管) シスプラチン 50mg/100mL ×()V シスプラチン 25mg/50mL ×()V 10mg/20mL × ()V シスプラチン 生食 500mL X₁B (持続点滴メイン:2時間) 8) ソルデム3A 500mL × 1B (持続点滴メイン:1.5時間) 9) ソルデム3A 500mL × 1B (持続点滴メイン:1.5時間) 10) フルオロウラシル 1000mg/20mL ×()V フルオロウラシル 250mg/5mL × ()V 生食 500mL X1B (持続点滴メイン:24時間) 11) 生食 50ml × 1B (持続点滴メイン:全開で フラッシュ用) Ⅲ. 化学療法剤投与量算出 <備考欄> <DTX·CDDP·5-FU投与量> □前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ) cm) 体重(身長(Kg) m²) 体表面積(DTX(ワンタキソテール)投与量(mg/body) $m^2) \times ($ = 75mg/m²×体表面積(%) CDDP(シスプラチン)投与量 mg/body) = 70mg/m²×体表面積(m^2) × (%) 薬剤師 薬剤師 主治医 5-FU(フルオロウラシル)投与量(mg/body) $m^2) \times ($ = 500mg/m²×体表面積(%) Dr. が二重線の枠内を記入して 開始前日10:30までに薬局へ提出してください。